

平成 27 年度 第 2 回倉吉市総合教育会議

日 時 平成 27 年 12 月 22 日（火）午前 10 時 30 分

会 場 倉吉市役所 市民応接室（本庁舎 4 階）

- 1 開 会
- 2 市長あいさつ
- 3 教育長あいさつ
- 4 協議事項
 - (1) 倉吉市立小・中学校の適正配置等について …………… 1
- 5 その他
- 6 閉会

< 総合教育会議構成員 >

倉吉市長 石田耕太郎

倉吉市教育委員会

教 育 長 福井伸一郎

教育委員 藤田義彦

教育委員 宮近 誠

教育委員 仲田優子

教育委員 福井真喜代

1 現在の状況

(1) 各地区で学校適正配置を考える会を開催

- ・関金・山守地区統合準備委員会 4月から毎月1回協議 10回
校名選定 関金小学校に決定。校歌・校章の募集、教育目標・教育課程の作成
- ・関金・山守小学校統合準備委員会 学校再編先進地(船上・聖郷小学校)視察 6月16日
- ・北谷地区青少年育成協議会等学校適正配置について説明 2月26日
- ・社地区自治公民館長会で説明 5月29日
- ・高城地区自治公民館長会で、学校統合について説明。高城地区考える会を創設 6月30日
- ・倉吉市自治連常任委員会 学校適正配置の推進状況を説明 6月16日
- ・高城地区教育を考える会 12月10日

(2) 中学校区説明会 10月20日、29日、11月11日、17日、24日 253名

アンケート結果 別紙の通り

- ・学校統合について 市全体で推進38%、各地区で推進46%、無理に推進しない11%
- ・統合の時期について 早急に17%、3年25%、5年24%、10年9%
- ・必要な説明について スケジュール54%、通学方法23%、放課後児童クラブ14%、財政面13%

学校の適正配置についてより具体的な計画を示す必要があり、開校までの手続等を考えて早期に計画を示し推進していく。

(3) 倉吉市議会

- ・9月倉吉市議会 関金・山守小統合のための条例の改正、補正予算議決 9月25日
- ・12月議会一般質問

- 倉吉市小学校統合問題について時機は来ている。反対はあるだろうが決断すべきだ。
- 分校や学年分校など柔軟に考えて推進すべきだ。
- 様々な意見は出ており、市長判断する時期だ。

市長答弁 子どもにとって何が良いのか、市民の理解を得て推進していきたい。

教育長答弁 3月には「倉吉市小学校適正配置推進計画」を出し、それにより推進していく。

2 今後の進め方

(1) 小学校区での協議(1月)

- 上小鴨地区
- 灘手地区
- 北谷・高城・社地区
- 成徳・明倫地区

(2) 倉吉市民シンポジウムの開催「倉吉市立小・中学校の適正配置等について」(2月)

- ・関金・山守小学校統合のあゆみ
- ・今後の進め方

(3) 第二期教育振興基本計画の発表(3月)

学校の適正配置の推進

児童生徒数の減少を踏まえ、子どもたちが望ましい成長をするため、学校教育審議会からの答申を基に市民との意見交換を重ね、適正配置を推進していきます。

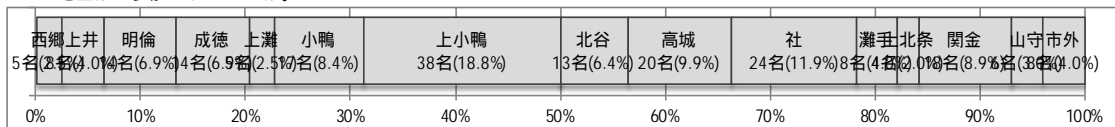
「倉吉市立小・中学校の適正配置の具体案【草案】」(平成25年3月)を基に、別に教育委員会が定める「倉吉市立小学校適正配置推進計画」により、平成28年~32年度に段階的に行うよう推進します。

中学校の適正規模、校区の再編を含めた校区のあり方について、学校教育審議会で検討し、検討した結果について広く市民の意見を聞き、今後の方向性を出していきます。

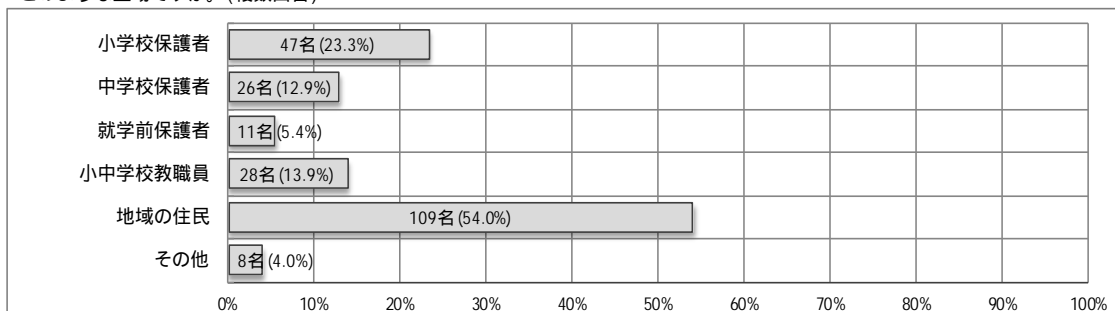
倉吉市小中学校適正配置について中学校区別説明会アンケート結果 H27 秋

倉吉市全体地区説明会(アンケート回収：202名)

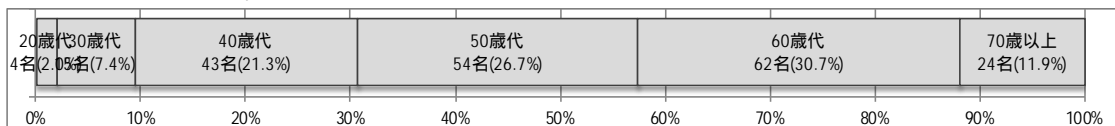
問1 どの地区から参加されましたか。



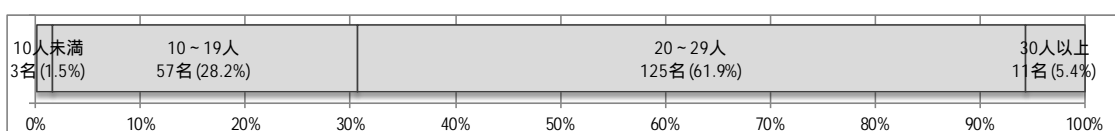
問2 どのような立場ですか。(複数回答)



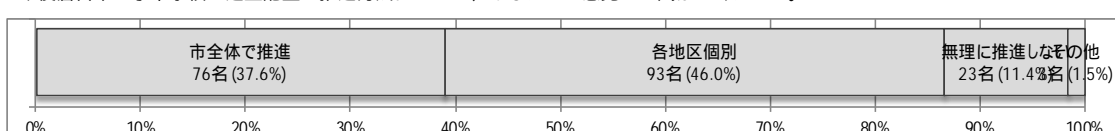
問3 どの年齢層に該当しますか。



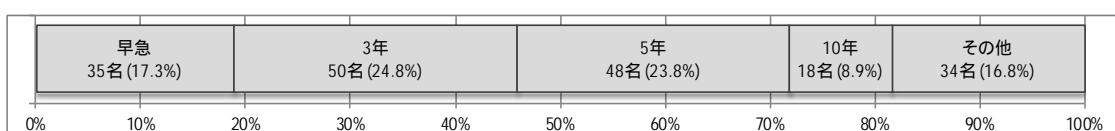
問4 小学校教育活動をする上で、男女合わせて1クラス何人が適正規模だと考えますか。



問5 今後倉吉市の小中学校の適正配置の推進方法について、あなたのご意見をお聞かせください。



問6 学校統合を推進する場合、何年後の開校をめざしていきべきだと思いますか。



問7 今後倉吉市の小中学校の適正配置を進めていく上で、もっと具体的な資料や説明が必要だと思うことをお聞かせください。(複数回答)

